

1. 強壮用健康食品から検出された医薬品成分

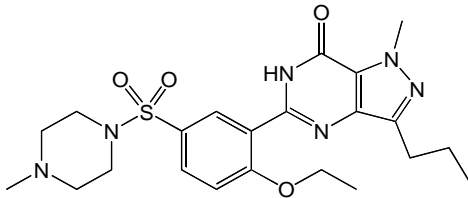
○シルденаフィル

国内ではシルденаフィルのクエン酸塩が医薬品として承認されています。

適応症：勃起不全

副作用：頭痛、ほてり、鼻閉、心悸亢進 等

化学構造式



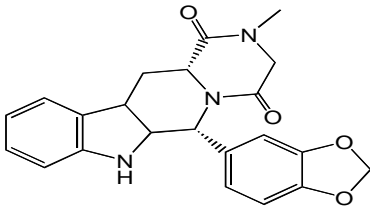
○タダラフィル

国内でシアリス錠が医薬品として承認されています。

適応症：勃起不全

副作用：頭痛、潮紅、ほてり、消化不良 等

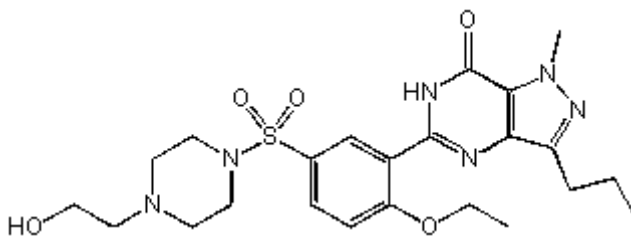
化学構造式



○ヒドロキシホモシルденаフィル

国内外で医薬品として承認されていませんが、シルденаフィルと同様な作用を有することが考えられ、健康被害の発生するおそれが否定できません。

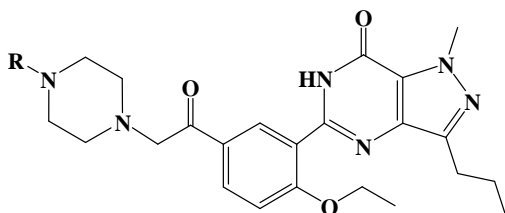
化学構造式



○ヒドロキシホンデナフィル、ホンデナフィル

国内外で医薬品として承認されていませんが、シルデナフィルと同様な作用を有することが考えられ、健康被害の発生するおそれが否定できません。

化学構造式



R :

CH₂CH₂OH

ヒドロキシホンデナフィル

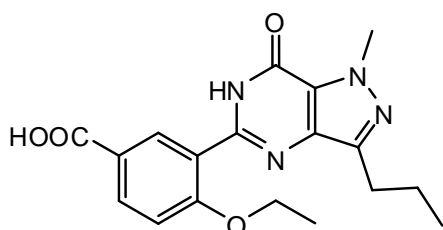
CH₂CH₃

ホンデナフィル

○アセチルアシッド

国内外で医薬品として承認されていませんが、シルデナフィルと同様な作用を有することが考えられ、健康被害の発生するおそれが否定できません。

化学構造式



○イミダゾサガトリアジノン

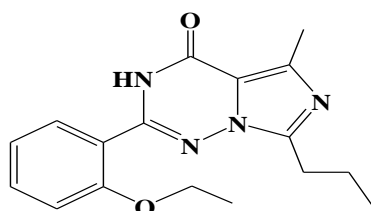
国内外で医薬品として承認されていませんが、バルデナフィルと同様な作用を有することが考えられ、健康被害の発生するおそれが否定できません。

なお、国内では、バルデナフィル塩酸塩水和物（レビトラ錠）が医薬品として承認されています。

適応症：勃起不全

副作用：頭痛、ほてり、鼻閉、心悸亢進 等

化学構造式



2. 痩身用健康食品から検出された医薬品成分

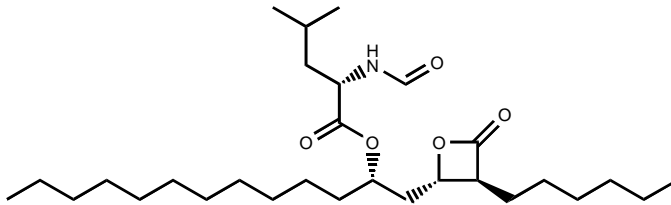
○オリスタット

海外では医薬品として承認されています。(国内では未承認)

適応症：肥満症

副作用：腹部膨満感、下痢、放屁・排便回数の増加 等

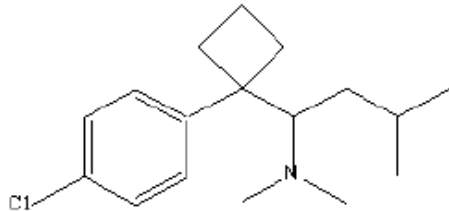
化学構造式



○シブトラミン

国内では医薬品として承認されていません。海外では医薬品（肥満症）として使用されたこともあります。循環器系障害（血圧上昇、心拍数増加等）のおそれがあるため、販売中止となっています。

化学構造式



○フェノールフタレイン

塩基性で赤色を示す（変色域 pH8~10）pH 指示薬です。

医薬品（下剤）として使用されたこともありますが、発がん性などのおそれがあるため、現在は医薬品として使用されていません。